

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	術前化学療法を施行した cStagell、III の高齢食道癌に対するプレアルブミンの影響
	研究目的	cStagell、III の食道癌の標準治療は、術前補助化学療法を行い、食道切除を行うことである。食道癌の術前補助化学療法、手術はともに高度な侵襲を伴うものであり、高齢者に対する治療方針の決定のための予後指標が必要である。今回、術前化学療法後に手術を行った高齢食道癌患者において予後因子の検索のために、プレアルブミンの臨床的影響について検討した。
	研究対象者	cStagell、III の診断で術前補助化学療法（FP 療法）を行い、2012 年 1 月から 2018 年 12 月までに当院で根治的食道切除術を施行した 65 歳以上の食道癌患者 80 症例を対象とした。
	研究期間	西暦 2023 年 2 月 28 日～西暦 2025 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	末松秀明
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター消化器外科末松秀明 su_e_ma_tsu@yahoo.co.jp	